

# 平成30年度 学校運営方針

## 1 学校教育目標

- ・ 向上心にもえ、知性豊かな生徒の育成
- ・ 誠実で、強い意志と実践力のある生徒の育成
- ・ 生命の尊さを知り、健康でたくましい生徒の育成

## 2 本年度の重点目標

目標に向かって努力を続けるしなやかな強さと、他を大切にするやさしさをもつ生徒の育成

## 3 学校運営の方針

目指す学校 ・安心、安全な学校  
・生徒が主体的に活動する学校  
・人権意識を磨き合い、社会性を高める学校

### ア 生徒、教職員にとって安心・安全な学校づくり

- ・ 生徒相互、教師と生徒との温かい人間関係を基盤にした学校・学年・学級づくりに努める。
- ・ 「挨拶、合唱、朝清掃」の伝統を大切にし、継続的な努力が認められる雰囲気をつくる。
- ・ 安全点検、安全管理を徹底し、安全確保や校舎内外施設設備の環境保全に努める。
- ・ 報告・連絡・相談をスムーズに行い、必要時にはチームでの迅速な対応を行う。
- ・ 各種たよりやホームページ、学校行事やP T A活動等の機会を通して、学校と家庭・地域社会との信頼関係を深めながら、家庭や地域社会の信頼に応える学校づくりに努める。

### イ 確かな学力をはぐくむ学習指導の充実

- ・ 生徒の実態を踏まえながら、基礎・基本の確実な定着と活用を図る指導を工夫する。
- ・ 生徒が自分の考えを表現し、学び合いを通して考えを深めていけるような指導を工夫することにより、思考力・判断力・表現力を高める。
- ・ 実践的な指導力向上のための校内研修を充実させ、生徒が意欲をもって主体的に学習に取り組めるようにする。

- ・ 生徒が自信をもって粘り強く学習に取り組めるように、集団の質の向上を図るとともに、一人一人の自己肯定感を高める指導に心がける。

#### ウ 豊かな心をはぐくむ教育の推進

- ・ 道徳の時間の指導を充実させるとともに、学校の教育活動全体を通して道徳性を養う。
- ・ 「社会に学ぶ『14歳の挑戦』」やボランティア活動等の感動や喜びを味わえる様々な体験を通して、自己の生き方を深く考えさせるようにする。
- ・ 自他の生命や人権を尊重する教育を推進し、互いに協調しながらよりよく生きようとする姿勢を育てる。

#### エ 健康・安全指導の充実

- ・ 家庭や地域社会との連携を強化し、望ましい生活習慣や学習習慣を身に付けた生徒を育成する。
- ・ 危険を予測し、安全に行動できるような判断力や危機回避能力を育てる指導を行う。
- ・ 生徒が自主的・自発的に取り組む部活動を推進し、意欲や体力の向上、人間性の向上を目指す。

#### オ 特別支援教育の推進

- ・ 生徒の実態に即した個別の指導計画や個別の教育支援計画を作成し、一人一人の教育的ニーズに応じた指導に努める。
- ・ 研修等を通して特別な支援を必要とする生徒の理解を深め、個に応じた指導に生かす。
- ・ 情報交換を密にし、生徒のよさや成長を共有しながら、一人一人の将来の自立を目指した教育を推進する。

#### カ 全校体制で取り組む生徒指導

- ・ 生徒と触れ合う機会を多くし、小さな変化やサインを見逃さずに声かけや相談、支援や指導を継続することにより、相互の信頼関係の上に立ったきめ細かな生徒指導を進める。
- ・ 教職員相互、S C、相談員、関係機関との連携を密にし、いじめや不登校、問題行動などの早期発見・早期対応を図る。また、役割分担を明確にして、学校ぐるみで解決に取り組む。
- ・ 生徒会活動を中心とした自発的・自治的な活動を充実させ、よりよい集団づくりを通して生徒の社会性を育む。